



十月農作業

●麦作
米の収穫期も目前に迫り
ましたので後作の麦の作付
に對しての注意に注意して
用意して下さい。

①品種の選定
適地適
品種を選定するに際しては
必要である事は言を待たま
せん。果の採種圃産の優良
種子の特性を充分に知つて
適当な品種を選んで下さい。

●種子の消毒
種子に
付着してある病菌は種子消
毒で退治して下さい。裸麦
の班葉病、小麦ナグサ黒
穂病にはウスブルン千倍液
(水一斗に五匁)で消毒する
改良温湯浸法
麦種子
をウスブルン千倍液に三時
間浸漬して引上げ温湯(四
十度前後で一時間浸漬する
此の際には温度降下の上ま
放置する)。温湯(五十五
度五分間、温度降下の上ま
放置し五分間温湯で温度計
の降下した温度差を(二度
を一分として)それだけ更
に延長する。例へば五分経
て五十五度であるとするば
五十分引く五十一度は四
度となり此の四度を四分と
して合計九分間浸漬する事
となる。消毒が終れば常に
薄く拡げて陰干にする。

●肥料
長浜地区の標
準肥料設計(反当り三石目
標)元肥、堆肥二百五十
五硫酸三質過磷酸石灰十
五硫酸加里二質(硫酸加里
塩化加里二質)。追肥(一
月下旬硫酸二質)。第二
一回追肥(三月上旬)硫酸二
五硫酸加里一質。此で
内容成分窒素二質八五五
十硫酸加里二質三十五。外
加里三質目とします。外
に反当り二十匁の石灰を撒
布するとよい。堆肥成分
は百分中窒素〇・五、リン
三加里〇・六、入糞尿は
窒素〇・六、六、一三加
里〇・二七の見積りです。
尚元肥及び追肥に人糞尿を
施用する場合は硫酸を減す
ること。

以上の肥料設計は当地区
の標準一例で実際に施用す
る場合は平地部、山間部、
肥沃地、ヤセ地、粘土質、
砂質土、目標量等により分
量や追肥の回数及時期をそ
れぞれ変更せねばなりません。
果の採種圃産の優良種子
の特性を充分に知つて、
適当な品種を選んで下さい。
●選種
充実した良い
種子よりは丈夫な苗が立ち
ます唐箕選及び塩水選をし
て下さい。

●果樹
▲早生温州採果上の注意
採果された果実を良く調査
して見ると百個中大体十個
以上は生傷果が見受けられ
る。其の大部分が採果時
に傷つて採果容器に依る
外傷が多い。特に早生温州
は果皮が僅かの外傷でも非
常に腐敗し易いので一層の
注意が必要である。

●町内を浄化しましょう
町内の道路に紙くず、繩切
は地盤が低く、満潮時は海
水が下水道へ逆流する程
度です。下水道が流れて
土砂は管内へたまり、切
角莫大な経費をかけて作
つた下水も使用に堪えな
くなり、下水がこぼれ
て、一番困るのは誰かよく
考へて見ましょう。

●畜産
●綿羊
綿羊種付の好期
です種付は何と云つても一
年中で一番大切な時です。
来春は頭の空欄のない羊
にしましょう。種付の時
期は九月末頃より十一月末
頃までで、種付の発情期
の周期は十六日、十八日
あります。

●養蠶
例年舉行されておりました
愛媛農業祭は年と共に盛況
を重ねており農家の皆さ
の農業技術の改良、経営の
改善、畜産、林業、蚕糸と
農業に関する総ての部門の
展示、相談をしており、ま
今年も左記により行われま
すから出来るだけ參觀して
下さい。

●林業
●秋季造林の奨励について
最近ほつと、秋造林が
行はれていくが、秋造林は
年の生長が良好で活潑歩
もよく良好でありますから
御奨励します。
本年不作
樹は可成り夏秋梢が発生し
ているが、このまま、政任
と翌年着花過多となり隔年
結果をより一層大なりしめ
るので、本月上旬予備枝の設
定を行ひ着花部位の摘除に
依り新梢の発生を促す様
意する事が必要である。
●貯蔵庫の消毒
快晴
の日を選び貯蔵庫を清掃し
て後硫黄華燻(千立方
に三三匁使用)又はホル
ムリン(三匁使用)を散布し
て密封して二昼夜燻蒸する
事。

●生活改善
ナスのカラシ漬の作り方
一、下漬。材料、漬桶一斗
樽。重石二匁(水上れば一
匁)。差水一升。食塩三匁。
中等大の茄子二匁。瓶。色
本漬の材料。漬桶、瓶。色
粉少量。芥子粉八十匁。百
五十匁。米麹五合。八合。
食塩三十匁。六十匁。清水
五百匁。一升。水飴四百匁。
八百匁。漬方の順序。下漬
一、九月中旬の茄子を選び
付のま、尻より中途迄割目
を入れて漬ける。
二、食塩三分の二を以て桶
中に茄子を漬込み圧蓋を置
き重石を載せて別の器に食
塩三分の一で塩水を作つて
注入する。
三、茄子の紫色が褪せてか
ら本漬に移す。
四、下漬した茄子は適宜の大
きさに切つて水を多量に入
れた桶の中に投入し二、三
回水を替えて十時間経
れば茄子の塩分とアクが抜
ける。
五、アク抜きした茄子は布袋
に入れて充分搾り茄子を片
手で固く握り締めても水滴
の落ちない程度に固く搾
る。
六、鍋の中に水と水飴を入れ
て火を焚き水飴が溶けた
前記の搾り茄子を入れて沸
騰すれば直ちに瓶の中に入
れて置く。
七、芥子粉は普通アク抜きを
して用いるが水分の多い時
は粉のまゝ混和する。
八、二日程すれば茄子は水分
を吸うて膨れる。水分の加
減を見てから米麹と芥子粉
を入れるのであるが水分が
足の場合は湯水を入れて補
足する。
九、水分が多過ぎる場合は汁
を一時的に器に取り除き乾
燥した米麹を三、四合程度
追加すれば水分の調節は計
れる。
十、貯蔵中に乾いて水分が少
なくならぬよう適宜に湿
和し適度の湿度を保持す
べし。
十一、漬後は蓋をし目詰をし
て貯蔵する。約一ヶ月で食
べられる。
十二、尚カブの芥子漬の場合も
茄子に準じて作れば良いの
である。

町の日記

八月二十六日
町公民館主事打合せ
町内各公民館主事参集
公民館予算並に今後の公
民館運営等について協議
した。
九月二日
●県耕地課関係査定
関係の査定が行われた
九月八日
●町議会議員総会
町議会の視察者より過日
行つた合併後における新
町行政の在り方につき報
告あり今後における町
行政につき検討した。
八月三十日
●建設省関係会計検査
会計検査院による建設省
関係検査が実施された
八月三十一日
●町選挙管理委員会書記事
務打合せ
町役場会議室に於て九月
十五日現在調整の基本選
挙人名簿並に海産漁業調
査委員選挙人名簿につ
いて打合せを行った。
●町公民館役員選出、尚
今後の公民館運営につ
き協議した。

葉たばこの合同品評会開催

町村合併による白滝、大
和、櫛生、出海の四地区合
同にて、昭和三十年産葉た
ばこの品評会が九月十四日
長浜町高等学校講堂に於て
開催された。
近年にない豊作に百数点
が出品され、何れも美事な出
来ばえで左記の方々が入賞
町長賞を授けられた。

木炭生産者及び加工者にお知らせ

木炭検査長浜駐在所
検査所の規格指導方針は今
迄と変わらなく現在皆さ
が従って入れていらる品質
に変わりありませんから誤
解のない様生産加工されま
すようのぞみます。
●注 意
一、箱詰一五五入り長さ一寸
九分七、五五入り一寸八分
に鋸切りすること。
二、原炭の悪いものは箱詰に
しないこと。
三、量目正味に対し二、五分
増量のこと四匁一〇〇匁
二匁 五〇匁

としよりの日

御承知の如く
九月十五日は「
としよりの日」
であります。こ
の日を中心とし
て、老人を敬う
諸行事の数々が
各地で催されま
す。当町に於
ては、恒例によ
り九月十八日午前十
時より黒田地区集会所に喜
多地区(黒田、大屋、築地)
の老人十九名を招待、来賓
参列盛会に行われた。

催される敬老會

九月十五日午後一時より、
出公民館に七十才以上の
老人八十三名(男三十二名
女五十一名)を招き来賓と
して町長、教育長その他各
種団体代表参集のもとに盛
大に行われた。
ついで九月十八日午前十
時より黒田地区集会所に喜
多地区(黒田、大屋、築地)
の老人十九名を招待、来賓
参列盛会に行われた。

町内各地別 最年長者

- 長浜地区 大字長浜 岸本兵太郎 九十四才
喜多灘地区 大字今坊 山根勝太郎 八十六才
櫛生地区 大字須沢 本田ヤスヨ 九十才
出海地区 大字出海 平田ノブ 九十三才
大和地区 大字穂積 菊地スエ 九十才
白滝地区 大字戒川 須之内サタヨ 九十一才

出生と死亡

八月中の届出分
出生
本庁分
山本富三郎 二女 みき子
中島 三吉 長男 達
竹内 謙吉 二男 隆
佐伯 成子 三女 光
松本 成子 長男 啓
友石 忠繁 二男 啓
中村 時義 二男 忠治
濱村千次郎 二男 芳郎
新上 芳郎 二男 信二
新崎 繁行 二女 摩弥子
川崎 久夫 二男 正孝
武田 三郎 二男 明子
上田秋三郎 二男 明子
沖井 泰蔵 四男 泰志
矢野 富計 長女 恵子
稲垣 安生 長女 京子
櫛生支所分
神田満寿幸 長女 伊勢美
西尾寿奈雄 三女 るみこ
境 辰夫 長女 喜久美
境 忠一郎 長女 泉
坂田 行義 二女 房枝
松浦 哲 二女 房枝
出海支所分
長男 克也
参河支所分
長男 春樹
大和支所分
長女 芳子
谷本 利雄 三女 ひとみ
西田 栄二 長女 多美子
坪内 幹男 長女 一恵
林 長蔵 三女 美登利
死亡
本庁分
増田 健司
門田ヤスエ
出海支所分
中田 高夫
豊岡 高夫
大和支所分
菊地 福市
成橋ヨシノ
上川サカエ
久保房五郎
白滝支所分
小野イケヨ
岩井ハナヨ
中嶋ヨシノ
富永 書代
鎌田 陶濃
伊藤 一七

町民館主事打合せ

町内各公民館主事参集
公民館予算並に今後の公
民館運営等について協議
した。

建設省関係会計検査

建設省関係会計検査
会計検査院による建設省
関係検査が実施された。

町選挙管理委員会書記事務打合せ

町役場会議室に於て九月
十五日現在調整の基本選
挙人名簿並に海産漁業調
査委員選挙人名簿につ
いて打合せを行った。

公民館役員選出

長浜公民館役員選出、尚
今後の公民館運営につ
き協議した。

町村合併による白滝、大和、櫛生、出海の四地区合同品評会開催

町村合併による白滝、大
和、櫛生、出海の四地区合
同にて、昭和三十年産葉た
ばこの品評会が九月十四日
長浜町高等学校講堂に於て
開催された。